

令和5(2023)年度 日光土木事務所ガイド

2023 Information Guide

● 道路、河川・砂防、ダムの維持管理

Maintenance of Facilities

① 道路

道路を常に安全で快適な状態に保つために、次のような業務を実施しています。

- 道路のバトロール
- 路面の点検
- 路面の清掃
- 路肩の除草
- 道路の除雪
- 損傷した路面や側溝の補修
- 橋梁等の点検及び補修
- 道路照明や道路案内標識の点検及び補修
- 道路の除雪



② 河川・砂防

河川を常に安全で正常な状態に保つために、次のような業務を実施しています。

- 河川・砂防施設のバトロール
- 護岸、根固等の点検及び補修
- 油流入等による異常水質への対応
- 堤防の除草
- 損傷した堤防の補修
- 護岸、根固等の点検及び補修
- 堤防の除草



③ ダム

ダムの安全・正常な利活用のために、次のような業務を実施しています。

中禅寺ダム

- 施設運用**
- 洪水調節
 - ・洪水時に中禅寺湖の水位を調節
 - 利水補給
 - ・農業用水等の補給
 - 維持流量の供給
 - ・河川環境の保全
 - 発電用水の補給
 - ・下流発電事業者に対する発電用水の補給
 - 雨量等のデータの収集
- 施設管理**
- 各施設の点検・整備
 - ダムの観測・計測
 - ・貯水池の水位を計測
 - ・地震時のゆれを計測
 - ・雨量の計測



ダムの種類	重力式コンクリートダム
ダムの高さ	6.4m
ダムの長さ	25.1m
ダムの体積	1,886m ³
貯められる水の量	25,100,000m ³
ダムの貯水池の面積	11.4km ²
雨が貯水池に流れ込む区域	125km ²

三河沢ダム

- 施設運用**
- 洪水調節
 - ・洪水時にダム下流の水位を低減
 - 利水補給
 - ・水道水の確保、農業用水等の補給
 - 維持流量の供給
 - ・河川環境の保全
 - 雨量等のデータの収集
- 施設管理**
- 各施設の点検・整備
 - ダムの観測・計測
 - ・貯水池の水位を計測
 - ・地震時のゆれを計測
 - ・ダム基礎地盤から湧出する水の量を計測
 - ・雨量の計測



ダムの種類	重力式コンクリートダム
ダムの高さ	48.5m
ダムの長さ	97.5m
ダムの体積	57,500m ³
貯められる水の量	899,000m ³
ダムの貯水池の面積	0.075km ²
雨が貯水池に流れ込む区域	13.9km ²

● 許認可事務

Licensing office

① 道路法

- 道路占用許可
道路を使用(占用)する場合には、許可が必要となります。
- 道路工事施行承認
道路の法面埋め立て、歩道切り下げ等による車両乗入口の設置、取り付け道路の設置等、県が管理する道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要となります。

② 河川法

- 河川占用許可
河川区域内において土地を使用(占用)する場合、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合、河川保全区域内において、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合には、許可が必要となります。

③ 砂防法等

- 次の区域内で制限行為(盛土切土等)を行う場合には、各法律に基づく許可が必要となります。
- 砂防指定地(砂防法)
 - 急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)
 - 地すべり防止区域(地すべり等防止法)

④ 土砂災害防止法

- 土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。

※各申請協議については、事前に連絡をお願いします。

栃木県 日光土木事務所

〒321-1414 栃木県日光市萩垣面2390-7
TEL: 0288-53-1211(代表) FAX: 0288-53-1218
ホームページアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/h53/index.html>
電子メールアドレス nikko-dj@pref.tochigi.lg.jp



● 管内概要

Overview of Services Chart



● 管内概要 Summary of Services

日光土木事務所は、県都宇都宮市から北西約30kmに位置し、県土の北西エリアを所管しています。

管内は豊かな自然や世界遺産に登録された「日光の社寺」、ラムサール条約登録湿地の「奥日光の湿原」、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている「日光杉並木」など歴史的・文化的観光資源が多数存在しており、日本を代表する観光地となっています。

主な交通網は、鉄道ではJR日光線、東武日光線等、道路では国道119号や国道121号等があり、県内外と結ばれています。

管内の面積は、1,450km²で県土の約23%を占め、そのうち国有林野などの森林地域が占める面積は802km²で管内の約55%、国立公園地域の占める面積は718km²で管内の約50%という特徴を有しています。また、足尾山地、日光連山、男鹿高原を背に、山岳地帯が大部分を占め、南東の一部では鬼怒川と大谷川による扇状地が形成されています。

● 日光土木事務所管内のデータと栃木県に占める割合

Statistics of Nikko City and Tochigi Prefecture

区分	栃木県(A)	事務所管内(B)	B/A(%)	調査年月日	
面積	6,408km ²	1,450km ²	22.6%	令和4年10月1日	
人口	1,905,170人	74,789人	3.9%	令和5年1月1日	
市町数	25市町	1市	4.0%	令和5年1月1日	
県管理道路	国道	路線数	12路線	7路線	58.3%
		路線延長	691.592km	183.725km	26.6%
		路線舗装率	99.6%	98.3%	-
		路線改良率	98.8%	98.4%	-
	県道	路線数	291路線	33路線	11.3%
		路線延長	2,830.849km	318.786km	11.3%
		路線舗装率	96.5%	93.3%	-
路線改良率	88.3%	76.4%	-		
計(国道+県道)	3,522.441km	502.511km	14.3%	令和4年4月1日	
国道及び県道の永久橋	3,058橋	482橋	15.8%		
県管理河川	河川数	292河川	64河川	21.9%	
	河川延長	2,474km	417km	16.9%	
県管理ダム	ダム数	7基	2基	28.6%	
砂防指定地	箇所数	1,597箇所	618箇所	38.7%	
	面積	7,241.51ha	3,085.87ha	42.6%	
土砂災害警戒区域	9,701箇所	1,140箇所	11.8%		
県営住宅数	7,196戸	100戸	1.4%		
都市計画区域	413,344ha	48,243ha	11.7%		

● 日光土木事務所の執行方針

令和5(2023)年度

Enforcement Policy

日光土木事務所の所管する日光市には、奥日光の湿原に代表される豊かな自然、世界遺産「日光の社寺」や杉並木など、多くの歴史的・文化的資源が存在しており、国内外から多くの観光客が来訪するなど、本県の観光を牽引しています。

一方、山間部の厳しい地形や気象条件に加え、近年急速に人口減少が進む中、住民や観光客の安全・安心の確保、観光や地域の活性化などが課題となっています。

理念 人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“日光”

この理念の実現に向け、以下の重点戦略により、思いやりとおもてなしの心を持って、住民や利用者目線に立てて必要な事業を実施します。

重点戦略

- 「住民がいつまでも快適で安心して暮らせる地域」
- 「災害に強く、たくましい地域」
- 「観光立県とちぎを牽引する、質の高い“国際観光都市 日光”」

重点的に取り組む施策

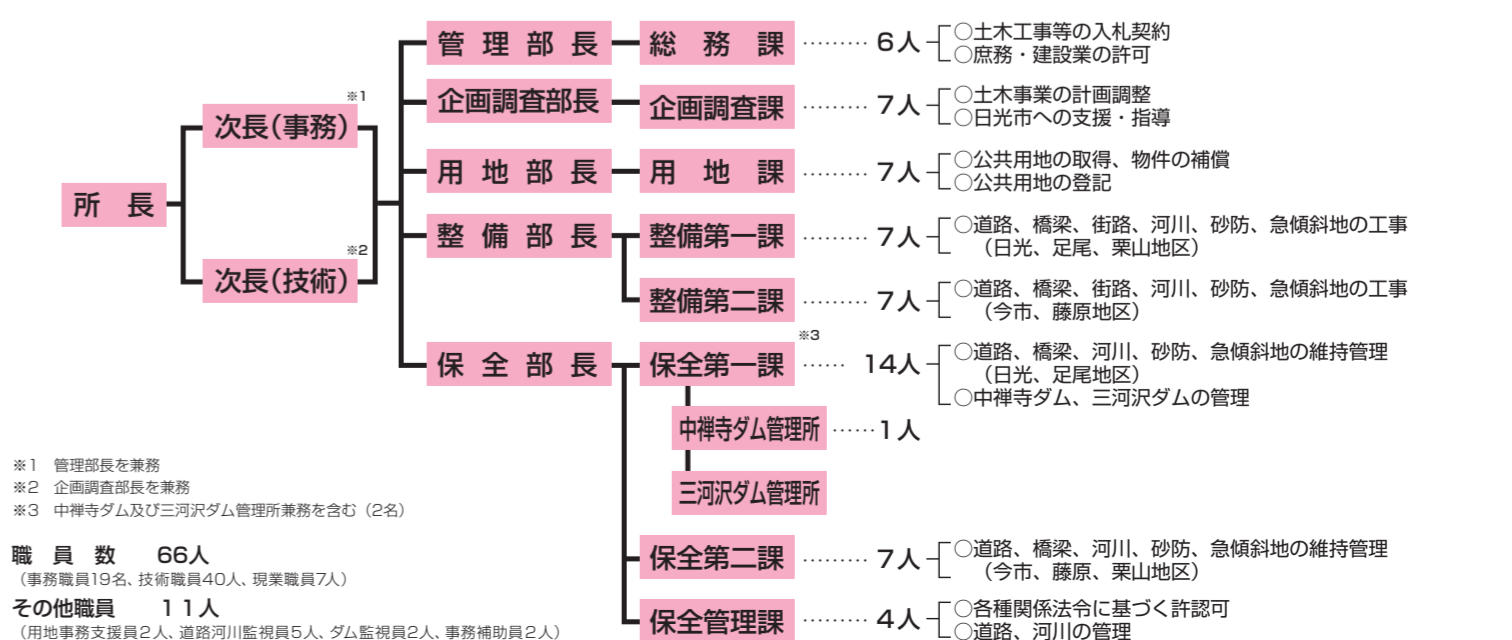
- 道路や河川砂防・ダム施設の適確な管理保全、安全で安心できるサービスの提供
 - バトロールや、構造物の「点検・予防保全」などによる管理施設の維持・長寿命化
 - 異常気象時の迅速で的確な対応、除排雪等による冬期通行の確保、適正な許認可の執行
 - 平時より職員全員が危機管理意識を高く持ち、地元と連携した防災訓練、出前講座の開催などソフト施策も実施
- 高齢者や子供が安心して暮らせる地域づくりの推進
 - 交通安全施設事業(宇都宮今市線小代、鹿沼日光線相生町等)
 - 道路改築事業(鹿沼日光線東小代川、川俣温泉川治線日向)等
- 台風や集中豪雨など河川氾濫による被害から県民の生命・財産を守り安全安心な暮らしを確保
 - 緊急防災・減災対策事業(赤堀川等)
- 住民や観光客の生命と財産を守る災害に強い地域づくりの推進
 - 直轄権限代行に併せた調査・設計等の推進(国道121号日光川治防火)
 - 道路改築事業(川俣温泉川治線若間)、防災事業(国道121号五十里)、橋梁補修事業(国道119号日光橋)等
 - 河川事業(田川土沢、猪倉)
 - 砂防事業(井戸沢、下小網中沢)
- 人と物の活発な交流を促進する道路網の整備推進と渋滞対策
 - 道路改築事業(国道121号文挾BP、国道120号清滝等)
 - 世界遺産地区及び中宮祠地区における渋滞対策(無料臨時駐車場へのデジタル技術を活用した迂回誘導等)
- 良好な景観を形成し魅力ある街並みの創出(歩道・電線共同溝整備)
 - 国道119号下鉢石町、(都)平町東町線外下今市
- 日光杉並木街道の保護(BP整備推進と杉並木街道内における通過交通排除)
 - 国道121号文挾BPの事業推進、通過交通排除の検討

職場づくりの取組

- “機敏に動く”をモットーとしたアジャイル型(スピード感のある柔軟な)組織運営
 - 走りながら臨機応変に対応する職員を目指す
 - 組織文化として“自分から声を出す”職場づくり
 - 「働きがいのある職場」の創出
- 業務の偏りの少ない職場、風通しの良い職場、成長を感じられる職場

● 日光土木事務所の組織体制

Organizational Structure



道路事業 ① 国道121号 (日光市文挾バイパス)

快適で安全な道づくり事業 (令和元(2019)年着手)
 ・(第一工区) L=3,500m W=12.0 (6.5) m
 平成25年に供用を開始した板橋バイパスから鹿沼市までをバイパス整備するものです。現道が日光杉並木街道であり、幅員が狭く歩道もない状況であるため、走行性の改善、交通安全の確保、自然災害に強い道路網の整備と併せて、杉並木への交通負荷の低減を図ります。



道路事業 ② 国道119号 (日光市下鉢石町)

快適で安全な道づくり事業 (平成30(2018)年着手)
 ・L=250m W=17.0 (10.0) m
 JR日光駅・東武日光駅から世界遺産「日光の社寺」へ通じる区間において、電線類の地中化と歩道の拡幅整備を行うものです。国際観光都市にふさわしい景観の形成、快適で安全な歩行空間の確保を図ります。




道路事業 ③ 国道120号 (日光市清滝)

快適で安全な道づくり事業 (平成30(2018)年着手)
 ・L=2,400m W=11.0m
 日光宇都宮道路清滝ICから細尾大谷橋交差点までを拡幅整備するものです。行楽期に著しい交通渋滞が発生しているため、現在2車線の道路を段階的に拡幅し、車線数を増やすことで、交通渋滞の緩和を図ります。



道路事業 ④ 川俣温泉川治線 (日光市若間)

快適で安全な道づくり事業 (平成28(2016)年着手)
 ・L=1,820m W=8.0 (5.5) m
 下の沢橋から八重沢橋までをトンネルによるバイパス(一部拡幅)整備するものです。現道は、幅員が狭く、屈曲した箇所が多く、また急峻な地形で落石が頻繁に発生するなど、一般車両の通行に支障をきたしているため、これの解消を図ります。



道路事業 ⑤ 国道119号 (日光市日光橋)

道路保全事業 (令和3(2021)年着手)
 ・L=38.0m W=11.0m
 架設後61年が経過し、老朽化した日光橋の床版の補修や橋桁の塗装塗替を行うものです。これにより、橋梁の長寿命化を図り、世界遺産「日光の社寺」の玄関口として、安全安心な交通を確保します。



道路事業 ⑥ 国道121号 (日光市五十里)

土砂災害対策道路事業 (平成9(1997)年着手)
 ・L=3,000m W=6.5m
 道路防災点検において要対策とされた五十里地区の災害防除工事を実施するものです。これにより、道路上への落石等を未然に防ぎ、道路の安全性向上を図ります。



河川事業 ⑦ 一級河川田川 (日光市土沢)

安全な川づくり事業 (平成25(2013)年着手)
 ・L=6,000m
 田川橋から向原橋間までを、川幅を広く改修するものです。これにより、台風や集中豪雨など河川の氾濫による被害から住民の生命・財産を守り、安全で安心な暮らしを確保します。



砂防事業 ⑧ 井戸ノ沢 (日光市足尾町原)

砂防施設づくり事業 (平成30(2018)年着手)
 ・H=12.5m W=35.5m
 土石流危険渓流に指定されている井戸ノ沢において、透過型砂防えん堤を整備するものです。これにより、土石流の被害想定区域内にある公共施設や民家、緊急輸送道路である国道122号を守ります。



砂防事業 ⑨ 下小網中沢 (日光市藤原)

砂防施設づくり事業 (令和2(2020)年着手)
 ・H=11.0m W=38.0m
 土石流危険渓流に指定されている下小網中沢において、透過型砂防えん堤を整備するものです。これにより、土石流の被害想定区域内にある川治温泉駅をはじめとした公共施設や民家、緊急輸送道路である国道121号を守ります。



街路事業 ⑩ 3・4・20平町東町線外 (日光市下今市)

街路づくり事業 (平成25(2013)年着手)
 ・L=620m W=20.0 (6.0) m
 JR今市駅から東武下今市駅までを、電線類を地中化し、車道の拡幅及び歩道整備をするものです。現道は、幅員が狭く歩道もないため、これにより、快適で安全な都市内幹線道路を整備します。




道路事業 ⑪ 渋滞対策 (二社一寺、中宮祠周辺)

渋滞対策事業 (平成27(2015)年着手)
 行楽期に著しい渋滞が発生している二社一寺周辺及び中宮祠周辺において、開設した無料臨時駐車場への迂回誘導等を実施するものです。これにより、主要道路の交通量を分散させることで、公共交通機能の確保及び交通渋滞の緩和を図ります。



道路事業 ⑫ 国道120号 (いろは坂 外)

道路保全事業 (令和4(2022)年着手)
 ・L=16,000m
 供用開始から70年を迎えるいろは坂の大規模補修「いろは坂リフレッシュプロジェクト」として、いろは坂の舗装、防護柵、標識等を補修・更新します。これにより、走行性・安全性の向上を図り、土木遺産の保護と観光誘客に向けて、安全安心な交通を確保します。



ダム事業 ① 中禅寺ダム (日光市中宮祠) ② 三河沢ダム (日光市湯西川)

ダム施設保全事業 (令和3(2021)年着手)
 ・ダム管理用制御処理設備更新
 ダム管理用制御処理設備が、設置後約20年が経過し、老朽化が進んでいます。そのため、設備を長寿命化修繕計画に基づき、計画的に更新することにより、適切なダム管理を行い、県民の安全で安心な暮らしの確保を図ります。



道路事業 ① 国道121号 日光川治防災 (日光市川治)

令和元(2019)年度直轄権限代行新規事業化
 ・L=3,400m W=9.5m
 国道121号日光川治防災は、日光市五十里から川治温泉川治までの防災対策事業であり、令和元年度から国土交通省による直轄権限代行事業として進めています。自然災害に強い道路ネットワークの確保、走行性の改善と観光地等における道路利用者の交通安全の確保を図ります。



令和4(2022)年度の主な成果 Major achievements

道路事業 ① 国道121号 (日光市裏沢橋南)

快適で安全な道づくり事業 (令和元(2019)年着手)
 ・L=350m W=8.5m
 中三依地内の神明橋北側の幅員が狭い区間において、線形改良と一部拡幅を行いました。これにより見通しの向上に加え、大型車の対面通行が可能となり、安全安心な交通を確保しました。



道路事業 ② 国道120号 (日光市安良沢橋)

道路保全事業 (令和2(2020)年着手)
 ・L=42.0m W=7.5m
 いろは坂や中禅寺湖を經由し群馬県へと続く一般国道120号の安良沢橋は、架設から57年が経過し、老朽化した橋桁の塗装塗替や舗装の打替えを行いました。これにより橋梁の長寿命化を図り、安全安心な交通を確保しました。



道路事業 ③ 国道122号 (日光市大屈橋)

道路保全事業 (平成30(2018)年着手)
 ・L=41.8m W=7.5m
 栃木県日光市を起点とし群馬県へと続く一般国道122号の大屈橋は、架設から47年が経過し、老朽化した橋桁の塗装塗替や伸縮装置取替等を行いました。これにより橋梁の長寿命化を図り、安全安心な交通を確保しました。



砂防事業 ④ セツチン雑 (日光市中宮祠)

砂防施設づくり事業 (平成24(2012)年着手)
 ・H=10.0m W=215.1m
 昭和46年に竣工したセツチン雑の砂防堰堤は、老朽化が著しいため、緊急改築工事を実施しました。これにより、土石流に対して、地域の安全性が向上しました。



河川事業 ⑤ 一級河川行川 (日光市小倉) 外

堤防強化緊急対策プロジェクト事業 (令和2(2020)年着手)
 ・L=350m W=8.5m
 令和元年東日本台風では破堤・越水等の被害が発生しました。台風や集中豪雨から県民の生命・財産を守り、安全で安心な暮らしを確保するために、越水が起きた場合でも長時間の洪水に耐える粘り強い堤防(巻堤)等の強化を行いました。



砂防事業 ⑥ 堆積土除去事業

堆積土除去工事21箇所 (令和3(2021)年着手)
 令和元年東日本台風等により、土砂の堆積が進行した河川・砂防・ダム施設において、堆積状況や下流への影響を考慮し、堆積土除去工事を21箇所(除去土量56,000m³)実施し、施設の機能回復を図りました。